小田川ダム 貯水量四百万トン

総工費は三億五千万円

約九千石の増収見込む

当地区のダム建設の計画の調査は、岩木川石崎地区開発計画の一環として、昭和二十九年度から農林省および県耕地課が係官を派遣し、金木川、小田川、飯詰川の流域をあらゆる角度から調査した結果『ダムとしては小田川の上流が最適地である』と結論が出され、予算化されれば着工できる段階に至り、青森―金木間の直通道路とともに、町発展の明るいニュースであると関係者一同は大喜びである。

小田川の上流にダムの適地がある」と結論づけられたのは昭和三十年の夏で、それ以来県耕地課では係官を当地に派遣、現地近くに泊りこみで昨年十二月まで調査を続けてきたのであるが、その間、

①地形測量の補足

②水田用水の測定

③流量測定（降雨量との関係）

④地質調査

を行い昨年秋には①②③はほぼ大丈夫との確信を得、最後の堰堤基礎の地質調査を終ったのが十二月上旬で、この地質調査には農林省の田村技官が十月十二日に来町参加し、小田川ダム実現可能の太鼓判をおした。

このダムの常時貯水量は約四百万トンと推定されている。ダム建設計画の概要は次の通りである。

◇目的　農業用水と開田用水の補給

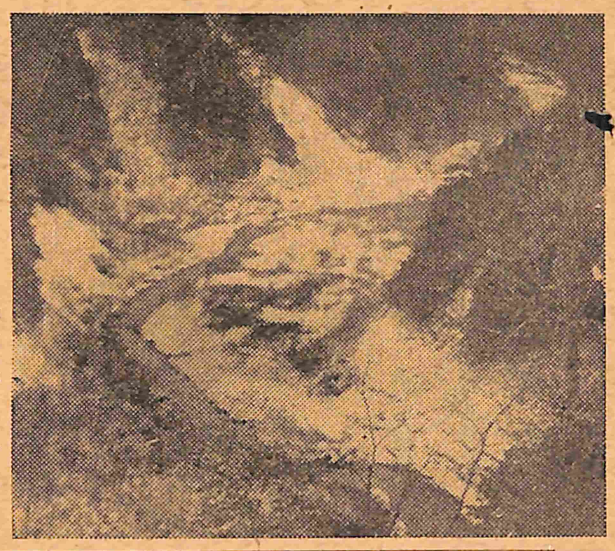
◇工事費　三億五千万円

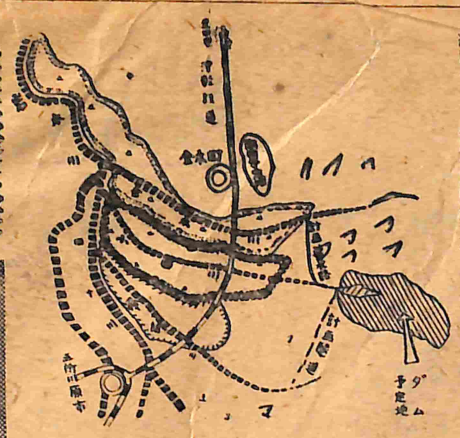
◇規模　堤高二十米　堤長二百メートル　ダム面積七十町歩、貯水量四百万トン、隧道水路四・五粁（ダム予定地から五所川原地区の飯詰川まで）　道水路五・〇粁　貯水量四百万トンのうち二百万トンは金木川、小田川、飯詰川の三川にそれぞれ補給し、あとの二百万トンは金木地区旧競馬場附近の原野約二百町歩を開田する用水にむける。受益面積は金木町＝千七百六十町歩　五所川原市＝七百四十町歩　となつており、河川ごとの受益面積は

金木川用水地域　千二百町歩
小田川　〃　五百町歩
飯詰川　〃　七百四十町歩

縣耕地課の話『岩木川石崎地区農業水利改良事業の一貫として昭和三十年度から二年間、仙台農地事務局とともに、ダム建設適地確認のため調査を行ったが、その結果大丈夫という結論に達した。今年度内にはすべての建設計画を完了し、三十二年度は隧道及び道水路に着手する予定だ。従つて実際のダム工事着手は三十三年度以降になると思う。この工事が完成すれば約九千石の増収は確実なので早期着工に努力するつもりである』

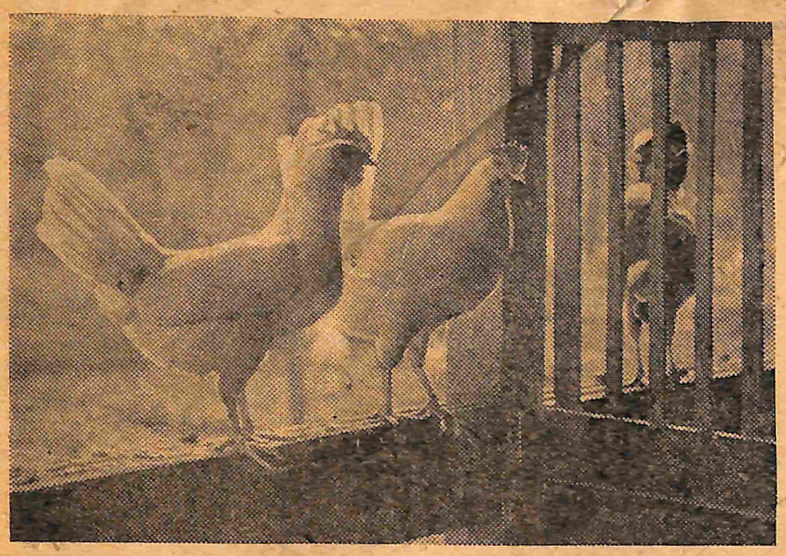
【写真＝小田川のダム適地】





【凸版＝ダム適地と水路の略図】

謹賀新年



△神武紀元から今年で二百十九回目の酉年。干支の十二支文字があるが、ネズミ以下の動物にはなんの関係もないという。

むかし十二支の文字の傍に文盲でも判り易い動物の絵を描いたのがいつの間にか動物と結びついてしまったらしい。

△酉（イウ）は飽きるとか、醸すの意味で、方角では真西、時刻だと今の午後六時にあたるのだから日本流の読み方には西も迷惑しているだろう。

△鶏の原産は印度の近辺で三千年も昔から人間様に飼われた形跡があり、われわれの生活とは密接なつながりをもつている。ともあれトリ談議はさておいて今後鶏を大いに可愛がり、人間様とともに栄え伸びることを祈りましょう。

【写真＝金木養鶏指導所にて】

仙台郵政局長賞の三輪組合

小金ためて四十余万円

家庭の主婦たちが家計費から節約して四十余万円となり、この程仙台郵政局長より表彰された貯蓄団体の小額の貯金が、つもりつもつた小金ためて四十余万円となり、この程仙台郵政局長より表彰された貯蓄団体があつた。

それは金木町時田部落の三輪貯蓄組合（組合長白川若葉）である。同組合は昭和二十六年一月、主婦たちが自発的に寄合い『家計費を節約して貯蓄しましょう』と申合せ、毎月少額ながら貯蓄を始めて来たもので、当初は少かつた組合員も現在は五十余名となり、一人平均八千円となつている。

白川会長の話＝私たちの組合が表彰されたことは恥しいようなものですが、私たちの節約した貯蓄が知らず知らずにこんなになつており、組合員一同も喜んでいます。これも組合員の協力のおかげで、各班長さんが毎月十日までに集金し、十五日前に貯金しています。組合員一同に相談して貯蓄の一部で皇居清掃の奉仕に行きたいと思つています

円満な議会運営を

＝年頭に当って＝

議会議長　原田勇太

昭和三十一年は議会にとつては、まさに多事多難な年でした。あるときは天下にその名を轟かし、二進三退、いたずらに小田原評定の古事をまねるなど、町民各位には申し訳ない一年でございました。

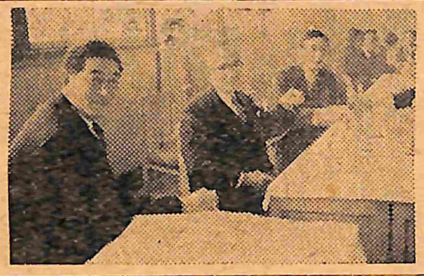
たまたま議員全員の申合せとして議会再組織による新発足の派閥解消旨途の段階に入り、不肖私が、推されて議長の職を汚すことになりました。もとより浅学菲才、議会運営の任にあらざるもの、と自戒しておりますが、議員在職二十数年の経験で、もつて議員間の調和の楔として役立てたいと決意いたした次第です。

昭和三十二年の年頭に当り、波乱議会金木町の今後のあり方としてまず何よりも反省を第一義とし波乱を混乱に延長しない不動の信念をもつて議会運営の円満を期したいと考えています。

津島（前県知事）さん等百余名

和やかな名刺交換会

恒例の新年名刺交換会は去る一月一日午前十一後半から金木町保育所において町主催で行われた。当日は津島前知事を始め町の名士百余名が参加し、花田町長年頭の挨拶の後、津島前知事の祝詞があり続いて、ささやかな祝宴が行われ最後に長谷地県立金木養鶏指導所長の音頭で万歳三唱して散会したこの日祝席には女中さんの姿は見られず、名士さん方の互酌ではあつたが、至つて和やかな情景だつた。



【写真＝中央盃をかたむける津島前知事と花田町長㊨】

保育所を専用建物に

検査院、県の監査結果

昨年の七月に会計検査院、翌八月に県と二回の監査を受けた町立の二つの保育所については、昨年十二月下旬さらに県厚生課の指導官が来町して調査指導の結果『一般に運営、設備ともに良好であるが保護者負担の措置費（保育料）は基準より下回つている。また暫定措置として認可した第二保育所は一日も早く独立建物とされたい』と述べ次のことを要望した。

◇保育所　①保育所に入所後の児童についての記録は、絶えず家庭との連絡を密にし、その詳細を整理記入されたい。

②非常災害に備えるための防火器具などを備付けるとともに、待避訓練を実施されたい。

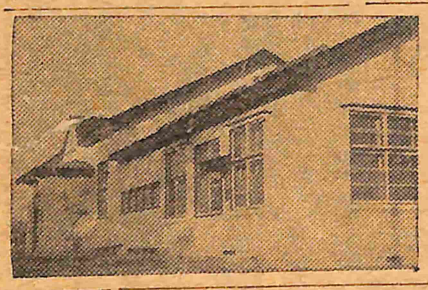
③保育所を休んで他の行事に施設を提供することは避けられたい。

④設備の関係もあるだろうが、清潔、整頓にはさらに留意し、保育に万全を期せられたい。

◇役場当局　①第二保育所は暫定的な措置として金木小学校々舎の一部使用を認めたのであるが、なるべく速やかに専用の建物とされたい。

②保護者負担の経費については、国の示す徴収基準を厳に守つてもらいたい。実状は基準を下回つていると思われる。保護者には保育所の主旨と措置費についてなお一層理解させるようにすると共に協力を求めるようにされたい。

③入所児童の保護台帳を更に整備されたい。



【写真＝五十坪ほど増築すれば第二保育所を吸収できる設備のよい金木町保育所】

出荷先の一位東京

年々のびるりんご生産

本年度は一般にりんごが豊作といわれているが、当金木町の生産数量は、一月十三日現在で検査済みが六万三千余箱。この外、小口発送のものや、検査のない自家用の分や不良品を加えれば、すくなくとも年産十三万箱近いものが見込まれる。

これを年度当初の予想に比べても優に一万箱が増産されている。現在までに出荷されている数量は六万三千余箱であるが、主な出荷を聞合で示せば次の通りである。

東京方面三五％、名古屋方面二五％、静岡方面一五％、北海道その他小都市が二五％。

生産量13万箱

長期天気予報

この後の寒暖の変動はやや大きいが、気温は概して平温ないし低目で、積雪は並か、やや多い見込み。なお特に寒気のきびしい時期は十二月後半から、一月初めにかけてと一月末から二月初めにかけて、風雪が強まり、津軽地方ではかなりの積雪が予想されるので注意されたい。

◇氣温…前半は低温が現われやすいが、後半は次第に高くなる見込みで、月平均としては平年並か、いくらか高目になるでしよう。

◇降雪量…津軽地方では平年並かそれよりやや多い目。

黄色い羽根募金

東南アジア諸國親善資金に

東南アジア各国との〃国民外交〃をすすめる黄色い羽根募金は二月一ぱい、県下いつせいに行われるこのため県ではアジア善隣国民運動県本部（本部長山崎知事）を設け、各市町村にはそれぞれ支部を設けて百五十万円（一世帯当り六円四十銭見当）募金のためアジアのシンボル黄色の羽根とバッジを売出す。

ふやしたい遊園地

母と子に暖い環境を

昨年四月に結成されて以来、いよいよ、第二年目を迎えることになりますが、本年は新しい希望をもつて、会員一同一致協力し、子供の生長を正しくのばし、母と子のあたたかい環境を作つてゆきたいと念願して、次に本年の予定事業や行事を並べてみました。

◇会員の自己研修

子供の生長に伴つて、母親も、共に知識をひろめてゆきたいため、最少限度の費用で、他所の優良施設や、婦人団体機関を見学視察し、子供の問題について意見を交換し、共通の悩みについて研究協議してゆきたい。

今年の計画

◇子供遊園地の新設

昨年、会の結成直後菖蒲公園の一部に、町当局の御厚意により遊園地の開設をみて非常によろこばれていますが、本年は出来得れば各町内にもこんな遊園地をと、願つています。

◇夏の遊びについて

特に水泳ぎについては、母親たちが心配しているものの一つでやはり遊ぶ場所がほしいものです

◇不良文化財対策について

子供の生長に適した文化対策によつて、不良化する芽生えを防ぎたいと思つています。【筆者母親クラブ会長の安田巳合子】

父兄に望む
理解と協力を
嘉中生徒から県外希望

金木中学校の場合は、学校、生徒父兄と、お互いが理解しあつて縣外就職で悩みを解決しているが、なお卒業生のゆくえには不安をもつている。この嘉瀬中学校はどうであろうか？

それは先輩の就職開拓の少ないこともあるが父兄の無理解も原因しているようだと学校側ではみている

巣立つ子等のゆくえ

三つの中学校と、高等学校一校のあるわが金木町は、一万六千有余人の人口を有してはいるが、農業が約八割という第一次産業の町であるだけに、人の子の親達は、わが子の就職のことでは人一倍なやんでいるが、学校側では次のようにみている。

先輩の就職開拓が少ないため、行先きが不安であつたことと、また父兄の無理解に伴う生徒の心理的萎縮により、卒業後直ちにという県外への就職希望者がまことに少なかつた。去年あたりから、職業安定所係員の積極的な、直接的指導をあおぎ、これを基礎にして全職員の家庭訪問をし、また職業科の時間には、この点について生徒と話合いした結果、次第に生徒自身から県外にのり出そうという気分があがり、去年は五名の県外就職がきまり、その成績も非常によいという安定所よりの知らせに喜んでいる。

今年はこれに影響してか、二十名の就職希望者があり、それぞれご希望に応じて結合させようと、全職員がはりきつている。

なお今年卒業生の就職希望を職種別に示せば次の通りである。

機械見習工七名、自動車修理工五名、自転車修理工三名、店員三名、美容師一名、電気工手見習一名

二月の農作業

1、堆厩肥の生産と堆肥運搬
地力の増強に、最も手取早いのは堆肥を増用することである。堆積材料を集め冬季間に切返しを十分にし、反当り三百貫は施用できるように増産し、田圃に運搬すること。

2、客土及び褐鉄鉱施用
冬期は寒く日は短いが、地力を高めるためには、客土及び褐鉄鉱を施用して増産に努めること

3、農機具の修理
大農具はもち論のこと、小農具といえども修理を行い、周到に整備しておくこと。

4、種籾の準備
できるだけ、耐寒性多収品種を重点的に作るよう種籾を多い目に準備すること。

5、保護苗代の資材準備
保護苗代の資材である油紙、ビニールを準備すること、特にビニール畑苗代は、本田一反歩に六一八坪のビニールを必要とする。（ビニールは幅六尺、厚さ〇・〇七五粍で透明のもの）油紙は光線をよく通す強靭なものを、本田一反歩に十坪―十二坪が必要である。また冬期間にビニールを押える網を作るとともに、防風資材、縄、幌用の竹、支柱、杭などを準備しなければならない。

（金木地区農業改良普及事務所）

解説 新消防条例
三消防団近く統合
新條例に基き改組

町村合併後も旧町村の趨勢のまま現在に至つている当町の三消防団については、早くから統合しては…という要望があつたが、このほど指揮系統の一元化を図つた『金木町消防条例』が新たに制定され、近く改組が行われる予定であるので、新消防団がどんな性格のものであるか、条例の中から主なる条項を次に紹介してみよう。

團長の任命・任期　消防団長は消防団の推せんに基き、町長がこれを任命しその任期は四年とする

幹部　副団長二名（金木、嘉瀬、寿良市各一）分団長　一四　部長　団付　七、分団　一七、班長　三八

定員　団長以下四〇二名

服務規律　①団員は常に災害の防止者であることを自覚し、有事に際しては団員としての任務を完遂しなければならない。

②団員は召集によつて出動し服務するものとする。

召集を受けない場合でも水・火災の発生、その他非常災害等の発生を知つたときは、消防長が予め指定するところに従い直ちに出動し服務しなければならない。

③出動した消防団員が解散する場合、団長は人員及び携帯した機械器具を点検し、これを消防長に報告しなければならない。

但し点検時の実人員を以て出動者とする。点検を受けないで解散したものは出動者と見做さない。

④団員にして十日以上居住地を離れる場合は、団長にあつては消防長に、その他にあつては団長に届出なければならない。

⑤団員は次のことを遵守しなければならない。

イ、常に水・火災の予防及び警戒の喚起につとめ、一朝有事に際しては最善を尽して雌に赴く心構えを持たなければならない。

ロ、規律を厳守し上司の命令の下に上下一体事に当らなければならない。

ハ、上下同僚相敬愛し、礼節を重んじ信義を厚くし、常に言行を慎まなければならない。

ニ、職務に関し金品の寄贈または饗応接待を受けまたはこれを請求してはならない。

ホ、消防団または消防団員の名義を以て政治運動に関与し、または他人の訴訟若しくは紛議に関与してはならない。

ヘ、町長の許可なく消防団または団員の名義を以て寄附を募集しまたは営利行為をなし、若しくは義務の負担となるような行為をしてはならない。

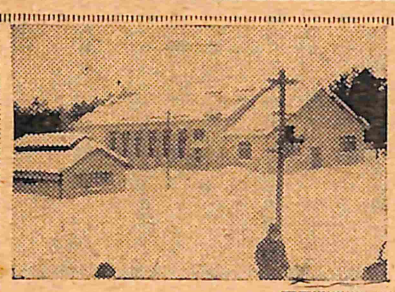
ト、機械器具その他消防団の設備資材は職務を以てする場合のほかこれを使用してはならない。

手当　団員には次の手当を支給する。年手当　幹部三〇〇円、消防員二〇〇円、出動手当　一回一〇〇円、訓練手当　一回一〇〇円

その他警戒、技術、賄及び臨時手当等はその都度支給することになつている。また職務上で旅行した場合は旅費を支給する。

勤続年数　団員の勤続年数は、新条例制定以前にすでに勤続していた年数を加算する。

写真ニュース



体育館完成に喜ぶ金木中学校

焼けたのが昭和二十四年だから今年で足かけ九年目――。講堂も体育館もなかつた金木中学校ではなにか行事があれば、校庭を使用するか、またはお向いの小学校に三拝九拝？

木造モルタル塗装の建物ではあるが、立派な体育館がこんど出来上つた。思わぬ早さでやつてきた冬将軍のため、春でなければ……と心配されたが、このとおり立派な出来栄え。

互酌で新生活運動

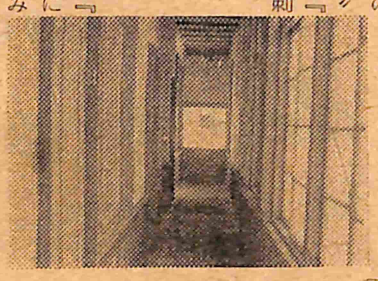
そろそろ唄や踊りが出そうな頃…とチビリ、チビリ。『まてヨ今日は何んだか物足らないようだ。こんなお目出度い酒席に女ツ気がないからだ。大声で呼び出してやろう』――なんて気を起したらチヨツトややこしくなる。

例年ならば男十人に女一人位の割合で、この〝お目出度い日〟の酒盛するのだが…。何事も『新生活』か？これは今年の名刺交換会の風景である。

高い天井？　せまく見える廊下？

〝ものすごく立派な建物〟廊下がちよつと狭い感じだが『これでも二間廊下ですよ。なにしろ天井が高いので、写真でみればこんなにみえるのです』と説明すれば『あ、そうですか』なんてほんとにしそうです。

『学校でもなさそうだし、金木にこんな所があつたかなあ』などと申す方はキツト家の中に閉じこもつている人でしよう。ここは増築した役場庁舎の三尺廊下です。



帽子も手袋もいらないや

今年は十三年ぶりの大雪だといわれているが、今もなお毎日の如く降りつづける雪――だが子供は元気だ。

お父さんお母さんは〝カゼ〟をひかないだろうかと心配しているらしいが、帽子も手袋もつけないでスキーに興じている。

〝親の心子知らず〟の一場面。

目標は養鶏モデル地区
張切るトリの指導所

昭和九年以来廃止となつていた県立金木養鶏場が、去る昭和三十年二月、県立金木養鶏指導所と改称し、津軽地域民の要望に応えて新発足して以来二年、養鶏のモデル地区を目標とし、農家養鶏の技術指導やら、ひな飼育の改善、経営の合理化に默々と努力を続けてきた同所を〝西年〟の御用始め直後新年のご挨拶をかねて当地区の状況をお尋ねしてみた。

西北地区は一般に規模が小さく、金木町にも養鶏組合が結成されているが、現在組合員が二千五、六名で飼育鶏数は千五、六百羽位のもので、一戸当り六十羽平均となつている。この地区の養鶏経営の実態について同所が調べたところによれば、一羽平均で初生雛から一年六カ月間を一年とし、雛の育成費と成鶏飼料費が二千円、産卵率が約六割でこの収入二千五百円、差引利益五百円、廃鶏代二百二十五円、鶏舎代三百円を合計して一千円以上の収益をあげている真剣な努力と研究改善によつて、方法さえ誤らなければ確実な収入が得られ、養鶏専門でも結構生計はたてられるとみており、養鶏について、もつて関心をもつていただきたい、と同所では要望していた。

長谷地所長の話＝最近当地域で養鶏について、いろいろ相談をうけるようになりましたが、金木地方は養鶏に対して認識が足りないようであります。指導所の努力の足りない点もあるが、養鶏組合も組織されていることだし、町や協同組合等と協調して農業養鶏の振興に努力してゆきたい考えです。

植物園の復活を

これてよいか

立派な石碑に『菖野植物園』と刻んでありますが、サテ園内に入つてみれば〝馬力競争〟の円形の道路が目立つているだけで、名にふさわしくない荒れぶり。

昔はいろいろ植物があつて大人にも子供にも随分と参考になつたものですがこれを復活させていただけないものでしようか

町民の声

お正月は一回で
遅くない新生活

新正は遅き、やがて旧正がやつてくるのですが、当地方はお正月といえば、やはり気分の出るのは旧正です。旧正は大正月、小正月、さん年と三回にわたつてお正月をすることになるのですが『合理的な生活を』といつて『お正月は新正か旧正の、どちらか一回だけにしましよう』という運動が大分前から展開され、封建的だといわれる青森県でも、お正月は『新正』一本にしましようという町村が非常に多くなつたようです。

楽しいお正月気分は長ければ長いほどよいのは誰でも同じことですが、時間の空費と経済的な無駄を省くという観点から、私は新生活運動の『お正月は一回で』ということに賛成するものです。

ひと昔前のお正月は、農作業の関係からみて旧正が、時期的に最もよかつたのが、新正月前にとり入れも終り、供出できるようになつた現在においては『新正一回』にという運動も、なるほどとうなずけることでしよう。

間もなく旧正が訪れますが、お正月を新正でやられた方でも、旧正もという方もあるでしよう。また旧正には従来通り小正月、さん年もという方もあると思いますが、どちらか一回にしてはいかがなものでしようか。（蒔田　農　Y）

一人八百字以内紙上とく名は記めます。投稿歓迎致します。

きりとり線

世論調査用紙

第一回貯蓄について

提出は二月五日まで

一、問　貯金をしているか
答　1、している
2、してない

二、問　どんな目的で貯金しているか
答　1、老後の生活安定のため
2、子供の将来のため
3、病気など不時の災害に備えるため

三、問　どんな工夫をして貯金しているか
答　1、冗費を節約して充てる
2、臨時収入を充てる
3、内職や副業の収入を充てる

四、問　どんな方法で貯金しているか
答　1、天引貯金をしている
2、余裕のできた時貯金する

註　該当している答の1、2などの数字を〇でかこんで下さい。

昭和三十二年　月　日提出

町名　　町　職業

性別　男　女　年齢　満　歳

提出先
①役場または各支所の投書箱
②各町内行政協力委員
のどちらでもよい。

金木町

きりとり線